

10月3日（月）「夢をもとう」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

さて、みなさん、今月は10月です。4月から1年が始まりましたので、1年の半分が終わりました。1年は、早いですね。

1年の半分となりましたが、できるようになったことは何ですか。今は、何を頑張っていますか。

さて、みなさんの夢は、何でしょうか。では、ある人の夢について紹介します。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は3歳の時から練習を始めています。3歳から7歳までは半年くらいやっていましたが、3年生の時から今までは365日中360日は、激しい練習をしています。だから、1週間中で友達と遊べる時間は5、6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。」

僕が一流選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢は野球選手になることです。」

さて、みなさん、この人は誰だかわかりますか。作者は、愛知県西春日井郡豊山小学校6年2組の鈴木一朗くん。日本の野球だけでなく、アメリカの大リーグでも大活躍した、イチロー選手の子ども時代の作文です。

イチロー選手は自分の夢に対して一つも迷いがありません。夢を素直に信じている。つまり夢に対して本気です。また、自分の夢に対して、すすんで努力しようとする気持ちが強い。一年中厳しい練習。友達と遊ぶのは1週間で5、6時間という。そう言い切っていた言葉には、少しの悔いも未練もありません。

みなさんは、どうですか。夢をもっていますか。人は、夢に向かって頑張ると、たくさんの力が湧いてきます。

一年の折り返し地点にきました。会社で言うと、これからは下半期となります。一日一日を大切に、夢や自分の目標に向かって頑張る人になってください。

「夢をもとう」

校長先生の今日のお話は、これで終わりです。（礼）

